

和書門

和書門			
二	四	三	二
〇	一	八	二
冊	架	函	號

內閣文庫			
〇	〇	〇	和
〇	〇	〇	書
架	冊	號	類

內閣文庫	
番號	和 20432
冊數	20 (4)
函號	200 102



萬葉集卷第四

相聞

難波天皇妹奉土在山跡皇兄御歌一首

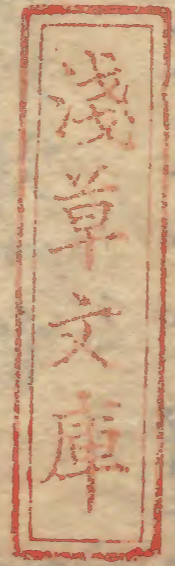
崗本天皇御製一首并短歌

額田王思近江天皇作歌一首

鏡王女作歌一首

吹黄力自歌二首

田部忌寸櫛子任太宰時歌四首



柿本朝臣人麻呂歌四首

基檀越往伊勢國時留妻作歌一首

柿本朝臣人麻呂歌三首

柿本朝臣人麻呂妻歌一首

阿部女郎歌二首

駿河姝女歌一首

三方沙彌歌一首

丹比真人笠磨下筑紫國時作歌一首 并短

歌

幸伊勢國時當麻呂大夫妻作歌一首

草嬢歌一首

志貴皇子御歌一首

阿倍女郎歌一首

中臣朝臣東人贈阿倍女郎歌一首

阿倍女郎報贈歌一首

大納言兼大將軍大伴卿歌一首

石川郎女歌一首

大伴女郎歌一首

後人追同歌一首

藤原宇合大夫遷任上京時常陸娘子贈歌

一首

京職大夫草原磨大夫贈太伴郎女歌三首

大伴郎女和歌四首

大伴坂上郎女歌一首

天皇賜海上女王御歌一首

海上女王奉和歌一首

大伴宿奈麻呂宿禰二首

安貴王戀歌一首 并短歌

門部王戀歌

高田女王贈金城王歌六首

神龜元年甲子冬十月辛紀伊國之時為贈從

駕人所誅娘子笠朝臣金村作歌一首 并短

歌

二年乙丑春三月三香原離宮之時得娘子笠

朝臣金村作歌一首并短歌

五年戊辰太宰少貳石川朝臣足入遷任餞

于筑前國蘆城驛家歌三首

大伴宿禰三依歌一首

丹生女王贈太宰帥大伴卿歌二首

太宰帥大伴卿贈大貳丹比縣守卿遷任民

部卿歌

賀茂女王贈大伴宿禰三依歌一首

土師宿禰水通從筑紫上京海路作歌二首

太宰大監大伴宿禰百代戀歌四首

大伴坂上郎女歌二首

賀茂女王歌一首

太宰大監大伴宿禰百代等贈驛使歌二首

太宰帥大伴卿被任大納言臨入京之時府

官人等餞卿于筑前國蘆城驛家歌四首

太宰帥大伴卿上京之後滿誓沙彌贈卿歌

二首

大納言大伴卿和歌二首

太宰帥大伴卿上京之後筑後守葛井大成

連悲嘆作歌一首

大納言大伴卿新袍贈攝津大夫高安王歌

一首

大伴宿禰三依悲別歌一首

金明軍與大伴宿禰家持歌二首

大伴坂上家之大嬢報贈大伴宿禰家持歌

四首

大伴坂上郎女歌一首

大伴宿禰稻公贈田村大嬢歌一首

笠女郎贈大伴宿禰家持歌廿四首

大伴宿禰家持和歌二首

山口女王贈大伴宿禰家持歌五首

大神女郎贈大伴宿禰家持歌一首

大伴坂上郎女怨恨歌一首并短歌

西海道節度使判官佐伯宿禰東人妻贈夫

君歌一首

佐伯宿禰東人和歌

池邊王宴誦歌

天皇思酒人女王御製一首

高安王異鮒贈娘子歌一首

八代女王獻 天皇歌一首

娘子報贈佐伯宿禰赤麻呂歌一首

佐伯宿禰赤麻呂歌一首

大伴四網宴席歌一首

佐伯宿禰赤麻呂歌一首

湯原王贈娘子歌二首

娘子報贈歌二首

湯原王亦贈歌二首

娘子復報歌一首

湯原王亦贈歌一首

娘子復報贈歌一首

湯原王人贈歌一首

娘子復報贈歌一首

湯原王歌一首

紀女郎怨恨歌三首

大伴宿禰駿河麻呂歌一首

大伴坂上郎女歌一首

大伴宿禰駿河麻呂歌一首

大伴坂上郎女歌一首

大伴宿禰三依離復相歡歌一首

大伴坂上郎女歌二首

大伴宿禰駿河磨歌三首

大伴坂上郎女歌六首

市原王歌一首

安都宿禰年之一首

大伴像見歌一首

安倍朝臣蟲麻呂歌一首

大伴坂上郎女歌二首

厚見王歌一首

春日王歌一首

湯原王歌一首

和歌一首 不審作者

安倍朝臣蟲麻呂歌一首

大伴坂上郎女歌二首

中臣女郎贈大伴宿禰家持歌五首

大伴宿禰家持與交遊別久歌三首

大伴坂上郎女歌七首

大伴宿禰三依悲別歌一首

大伴宿禰家持贈娘子歌二首

大伴宿禰千室歌一首 未詳

廣河女王二歌二首

石川朝臣廣成歌一首

大伴宿禰像見歌三首

大伴宿禰家持到娘子之門作歌一首

河内百枝娘子贈大伴宿禰家持歌二首

巫部麻蘇娘子歌二首

大伴宿禰家持贈童女歌一首

童女和贈大伴宿禰家持來報歌一首

栗田娘子贈大伴宿禰家持歌二首

豐前國娘子大宅女歌一首

安都麻娘子歌一首

丹波大女娘子歌三首

大伴宿禰家持贈娘子歌七首

獻天皇歌一首

大伴宿禰家持歌一首

大伴坂上郎女從跡見莊贈賜留宅女子大
嬢歌一首并短歌

獻天皇歌二首

大伴宿禰家持贈坂上家大嬢歌二首

大伴坂上大嬢贈大伴宿禰家持歌三首

又大伴宿禰家持和歌三首

同坂上大嬢贈家持歌一首

又家持和坂上大嬢歌一首

同大嬢贈家持歌二首

又家持和坂上大嬢歌二首

更大伴宿禰家持贈坂上大嬢歌十五首

大伴田村家之大嬢贈姊坂上大嬢歌四首

大伴坂上郎女從竹田莊贈賜女子大嬢歌

二首

紀女郎贈大伴宿禰家持歌二首

大伴宿禰家持和歌一首

在父邇京思留寧樂宅舊京坂上大嬢大伴
宿禰家持依歌

藤原郎女聞之即和歌一首

大伴宿禰家持更贈大嬢歌二首

大伴宿禰家持報贈紀女郎歌一首

大伴宿禰家持從父邇京贈坂上大嬢歌五
首

大伴宿禰家持贈紀女郎歌一首

紀女郎報贈家持歌一首

大伴宿禰家持更贈紀女郎歌五首

紀女郎曩物贈友歌一首

大伴宿禰家持贈娘子歌三首

大伴宿禰家持報贈藤原朝臣父須麻呂歌
二首

又家持贈藤原朝臣父須麻呂歌二首

藤原朝臣父須磨來報歌二首

大分郡新築村...
 大分郡新築村...
 大分郡新築村...
 大分郡新築村...
 大分郡新築村...
 大分郡新築村...
 大分郡新築村...
 大分郡新築村...
 大分郡新築村...
 大分郡新築村...

相聞

難波天皇妹奉上山跡皇兄御調一首

ヒトヒ コソヒトモ ミツツケナカキケ ヲ カク マタルレハ アリ エタヘ
 一日社人母待告長氣乎如此所待者有不得

勝スモ

岳本天皇御製一首 并短歌

カミヨ ヨリアレツキクレハ ヒトサハニクニ ハ ミチテ アキムラノ イサ
 神代從生繼來者人多國爾波滿而味村乃去

トハ ユケト ワカコフル キミニニシ アラ子 ハ ヒル ハヒノク
 來者行跡吾戀流君爾之不有者晝波日乃久

ル、ミテ ヨルハ ヨノ アクル キ ハミオモヒツ、イモ子 カテニ
 流留麻豆夜者夜之明流寸食念乍寐宿難爾

ト ア カ レ ツ ラ シ モ ナ カ キ コ ノ ヨ ラ
登阿可思通良久茂長此夜乎

反歌

ヤニノハニ アチムラサキコクナレ トワレハサフシ 丑 キミニ
山羽爾味村騷去奈禮騰吾者左夫思惠君二

レ アラ子ハ
四不在者

ア ウミチ ノ ト コ ノ ヤマナル アサ ヤ カハケ ノ コロニ
淡海路乃鳥籠之山有不知哉川氣乃已呂其

ロ ハ コヒツ、モ アラム
侶波戀尔裳將有

右今察高市岳本宮後岡本宮二代三帝
各有異焉但備岡本天皇未審其指

額田王思近江天皇作歌一首

キミニツト ワカコヒシレハ ワカヤ トノ スタレウヨカレアキノカセフク
君待登吾戀居者我屋戸之簾動之秋風吹

鏡王女作歌一首

カヒヲ タニコフル ハ トモニ カセヲ タニコム ト レニタハ
風乎太爾戀流波之之風小谷將來登時待者

イカ、 ナケカム
何香將嘆

吹黄刀自歌二首

マ ノ ノ ウラノ ヨ ト ノ ツキハレヨ、ロエ モ オモフヤ イモカイ
真野之浦乃與騰乃繼橋情由毛思哉妹之伊

メニシニミユル
目爾之所見

カハカミノイツモノハナノイツモイツモキニセワカセコ
河上乃伊都藻之花乃何時何時來益我背子
トキワカメヤモ
時自異目八方

田部忌寸櫟子任太宰時歌四首

コモテニトリトトコホリナクコニモニサレルウレゾオキ
衣手爾取等騰已保里哭兒爾毛益有吾乎置
テイカ、セム
而如何將為

置而行者妹將戀可聞敷細乃黑髮布而長此
コヲ

夜乎

ワキモコヲアヒシキムヒトヲコソコヒノニサレハウラメシオミ
吾妹兒矣相令知人乎許曾戀之益者恨三念

アサヒカケニハヤニテルツキノアカスカキニゾヤマコ
朝日影爾保蔽流山爾照月乃不厭君乎山越
ニオキテ

爾置手

柿本朝臣人麻占歌四首

ミクノノウラノハニユフモ、ヘナルコロハ、モトタニアハ
三熊野之浦乃濱木綿百重成心者雖念直不
又カモ

相鴨

イニニニアリケムヒトモワカコトカイモニコヒツ、イ子カニニケム
古爾有兼人毛如吾歟妹爾戀乍宿不勝家牟
イミノミノワサニハアラスイニレノヒトソマサリテ子ニサヘナキニ

今耳之行事庭不有古人曾益而哭左倍鳴四
モ、ヘニモキヲヨヘカモト、モヘカモキミカツカヒノニシトヤカサ

百重二物來及龜常念鴨公之使乃雖見不飽

有哉

碁檀越往伊勢國時留妻作歌一首

神風之伊勢乃濱荻折伏客宿也將為荒濱邊

爾

柿本朝臣人麻呂歌三首

未通女等之袖振山乃水垣之久時從憶寸吾

者

夏野去小牡鹿之角乃東間毛妹之心乎忘而

念哉

珠衣乃狹藍左謂沉家妹爾物不語來而思金

津裳

柿本朝臣人麻呂妻歌一首

君家爾吾住坂乃家道乎毛吾者不忘命不死

者

安倍女郎歌二首

今更何乎可將念打廢情者君爾縁爾之物乎

ワカセロハモノナキニソコトレアラハヒニモミツニモワレ
吾背子波物莫念事之有者火爾毛水爾毛吾
ナラナクニ
莫七國

駿河嫁女歌一首

レキタヘノマシラクク、
敷細乃枕從久久流淚二曾淨宿乎思家類戀
ノレケキニ
乃繁爾

三方沙彌歌一首

コロモテノウクコヨヒヨリイモ、ワレモイタコヒシナアラヨシヲナ
衣手乃別今夜從妹毛吾母甚戀名相因乎奈
美

新羅 册比真人笠麻呂下筑紫國時作歌一首 并

短歌

ミウトノクケニノスルカミナスミツノハマヘニサニツラ
臣女乃匣爾乘有鏡成見津乃濱邊爾狹丹頰
フヒモトキサケスワキモコニコヒツ、井ハアチクレバアサキリ
相紐解不離吾妹兒爾戀乍居者明晚乃旦霧
モリナクタツノナキノミツナクワカコフルモヘノイヒトヘ
隱鳴多頭乃哭耳之所哭吾戀流千重乃一朧
モナクサマルコ、ロモアリヤトイハクワカタクミシハアヲハタフ
母名草漏情毛有哉跡家當吾立見者青琪乃
カツラキヤマニタナヒケルレラクモカシアサカルヒナクニ
葛木山爾多奈引流白雲隱天佐我留夷乃國
ヘニタ、ムカフアハチヲスキテアハレニヲソカヒニミツ、アサナキ
邊爾直向淡路乎過粟島乎背爾見管朝名寸

二水手之音喚暮名寸二握之聲為乍浪上乎
五十行左具久美磐間乎射往迴稻日都麻浦
箕乎過而鳥自物魚津左比去者家乃鳥荒儀
之宇倍爾打糜四時二生有莫告我奈騰可聞
妹爾不告來三計謀
反歌
白妙乃袖解更而還來武月日乎數而往而來
猿尾

幸伊勢國時當麻麻呂大夫妻作歌一首
吾背子者何處將行已津物隱之山乎今日歟
超良武

草孃歌一首
秋田之穗田乃刈婆加香縁相者彼所毛加人
之吾乎事將成

志貴皇子御歌一首
大原之此市柴乃何時庶跡吾念妹爾今夜相

有香裳

阿倍女郎歌一首

ワカセコカキセルコロモノハリメオキナスイリニケラシナ
吾背子之盖世流衣之針目不落入爾家良之
ワカコロサヘ
我情副

中臣朝臣東人贈阿倍女郎歌一首

ヒトリ子テ父エニレヒモヲユハレミトヒムスヘレラニ子ノミ
獨宿而絕西紐緒忌見跡世武為便不知哭耳
レソナク
之曾泣

阿倍女郎答歌一首

ワカモタルニツアヒニコレルイトモチテツケアマレモライイソク
吾以在三相二搓流絲用而附手益物今曾悔

寸

大納言兼大將軍大伴卿歌一首

サカキニモテハフルトイラフウツタヘニヒトツマトイハフル
神樹爾毛手者觸云乎打細丹人妻跡云者不
ヌモノカモ
觸物可聞

石川郎女歌一首

カスカノヤニヘノミナヅヨソリナタカヨヒレキミカミエ
春日野之山邊道乎與曾理無通之君我不所
ヌコロカモ
見許呂香裳

大伴女郎歌一首

雨障常為公者久堅乃昨夜雨爾將懲鴨アハサハリツ子スルキ三八 ヒサカタノ ヨラヘン アメニ コリニケムカモ

後人追同歌一首

久堅乃雨毛落糠雨乍見於君副而此日令晚ヒサカタノ アメモ フラスカアニツ、ニ キミニ タクヒテコノヒ クラサム

藤原宇合大夫遷任上京時常陸娘子贈歌

一首

庭立麻手刈干布慕東女乎忘賜名ニハニタツアサテ カリホレニキレフアツミヲトメヲ ワスレタニヲナ

京職大夫藤原大夫賜大伴良女歌三首

嬖孀等之珠篋有玉櫛乃神家武毛妹爾阿波ヲトメ ラカ タミクシケナルタミクシノ ムツラシケム モ イモニ アハ

受有者

好渡人者年母有云乎何時間曾毛吾戀爾來ヨクワタルヒトハ トレニモ アリテフヲ イツノマ、ソモ ワカコヒニケル

烝被奈胡也我下丹雖卧與妹不宿者肌之寒アツラスミナ コヤカ レタニ フセトモイモトレ子、ハ カタレ サム

霜

大伴郎女和歌四首

狹穗河乃小石踐渡夜干玉之黑馬之來夜者サホ カハノ サ、レ フミワタリヌハ タマノ コマノ クルヨハ

年爾母有糠トレニモ アラヌカ

千鳥鳴佐保乃河瀬之小浪止時毛無吾戀爾
待不來云物乎
將來云毛不來時有乎不來云乎將來常者不
待不來云物乎
千鳥鳴佐保乃河門乃瀬乎廣彌打橋渡須奈
我來跡念者

右郎女者佐保大納言卿之女也初嫁一
品穗積皇子被寵無儔而皇子薨之後時
藤原麻呂大夫婿之郎女焉郎女家於坂

上里仍弼氏号曰坂上郎女也

又大伴坂上郎女歌一首

佐保河乃涯之官能小歷木莫刈鳥在乍毛張
之來者立隱金

天皇賜海上女王御歌一首

赤駒之越馬柵乃緘結師妹情者疑毛奈思

右今案此哥擬古之作也但以往當便賜

斯歌歟

海上女王奉和歌一首

アサユミツマヒリヨトノトホトニモキミカニユキヲキクハニ
梓弓爪引夜音之遠音爾毛君之御幸乎聞之
ヨシモ
好毛

大伴宿奈麻呂宿禰歌二首

ウチヒサスミヤニユクコヲマカチレミトムレハクルレヤレハス
打日指宮爾行兒乎真悲見留者苦聽去者為
便無

ナニハカタレホヒノナコリアクマテニヒトノミルコヲワレ
難波方益干之名凝飽左右二人之見兒乎吾

レトモモ
四乏毛

安貴王詞一首并短歌

トホツミノオ、ニアラチハタマホコノミキヲタトホミオモフソラヤカ
遠孀此間不在者玉梓之道乎多遠見思空安

ナクニナケクソラヤスカヌモノヲミソラユククモニモカモナタカクトフ
莫國嘆虛不安物乎水空往雲爾毛欲成高飛

トリニモカモナアスユキテイモニコト、ヒワカタメニイモ、コト
鳥爾毛欲成明日去而於妹言問為吾妹毛事

ナクイモカタメワレモコトナクイモミルコトクダヒテモカナ
事無為妹吾毛事無父今裳見如副而毛欲得

反歌

レキタヘノタミクラカスヘタテキキテトシソヘニケルアハヌキモヒハ
敷細乃手枕不纏間置而年曾經來不相念者

右安貴王娶因幡八上采女係念極甚愛

情尤盛於時勅斷不敬之罪退却本郷焉
于是王意悼怛聊作此歌也

門部王戀歌一首

飲字能海之益于乃滷之片念爾思哉將去道
之求手呼

右門部王任出雲守時娶部内娘子也未
有幾時既絶往來累月之後更起愛心仍
作此歌贈致娘子

高田女王贈金城王歌六首

事情甚毛莫言一日太爾君伊之哭者痛寸取

他辞乎繁言痛不相有寸心在如莫思吾背

吾背子師遂常云者人事者繁有登毛出而相

麻志呼

吾背子爾復者不相香常思基今朝别之為便

無有都流

現世爾波人事繁來生爾毛將相吾背子今不

有十方トコトハニカヨヒシキミカツカヒコス

常不止通之君我使不來今者不相跡絕多比

奴良思ヌラシ

神龜元年甲子冬十月幸紀伊國之時為贈

從駕人所誂娘子笠朝臣金村作歌一首并

短歌スガタ

天皇之行幸乃隨意物部乃八十伴雄與出去

之愛夫者天翔哉輕路從玉田次畝火乎見管

麻裳吉木道爾入立真土山越良武公者黃葉

乃散飛見乍親吾者不念草枕客乎便宜常思

乍公將有跡安蘇蘇二破且者雖知之加須我

仁默然得不在者吾背子之往乃萬萬將追跡

者千遍雖念手嬬女吾身之有者道守之將問

若乎言將遣為便乎不知跡立而爪衝

反歌

後居而戀乍不有者木國乃妹背乃山爾有益
物乎モノヲ言律豈然則乎不映能立而不齊

吾背子之跡履求追去者木乃関守伊將留鴨

二年乙丑春三月幸三香原離宮之時得娘

子作歌一首并短歌

笠朝臣金村

三香之原客之屋取爾珠梓乃道能去相爾天

雲之外耳見管言將問縁乃無者情耳咽乍有

爾天地神祇辞因而敷細乃衣手易而自妻跡
憑有今夜秋夜之百夜乃長有與宿鴨

反歌

天雲之外從見吾妹兒爾心毛身副縁西鬼尾

今夜之早開者為便乎無三秋百夜乎願鶴鴨

五年戊辰太宰少貳石川足人朝臣遷任餞

于筑前國蘆城驛家歌三首

天地之神毛助與草枕羈行君之至家左右

大船之念憑師君之去者吾者將戀名直相左
右二

山跡道之島乃浦迴爾縁浪間無牟吾戀卷者

右三首作者未詳

大伴宿禰三依歌一首

吾君者和氣乎波死常念可毛相夜不相夜二

走良武

丹生女王贈太宰帥大伴卿歌二首

天雲乃遠隔乃極遠鷄跡裳情志行者戀流物
可聞
古人乃令食有吉備能酒痛者為便無貫等賜
牟

太宰師大伴卿贈大貳丹比緝守卿遷任民

郡卿歌一首

為君釀之待酒安野爾獨哉將飲友無二思手

賀茂女王贈大伴宿禰三依詞一首

縣

筑紫船未毛不來者豫荒振公乎見之悲左

土師宿禰水通從筑紫上京海路作歌二首

大船乎撈乃進爾幣爾觸覆者覆妹爾因而者

千幣破神之社爾我掛師幣者將賜妹爾不相

國

太宰大監大伴宿禰百代戀歌四首

事毛無生來之物乎老奈美爾如此戀于毛吾

者遇流香聞

孤悲死牟後者何為牟生日之為社妹乎欲見

為禮

不念乎思常云者大野有三笠杜之神思知三

無暇人之眉根乎徒令搔乍不相妹可聞

大伴坂上郎女歌二首

黑髮二白髮交至者如是有戀庭未相爾

山管乃實不成事乎吾爾所依言禮師君者與

孰可宿良牟

賀茂女王歌一首

オホトモノミツトハハシアカチサシテレルツキヨニタニ
大伴乃見津跡者不云赤根指照有月夜爾直
相在登聞アヘリトモ

太宰大監大伴宿禰百代等贈驛使歌二首

クサクサタヒユタキニヲツクシタヒテソコシシカノハニヘシ
草枕羈行君乎愛見副而曾來四鹿乃濱邊乎

右一首大監大伴宿禰百代

スハツナルイハクニヤニヲコエムヒハタムケヨクセヨアキソノ
周防在磐國山乎將超日者手向好為與荒其

道三十

右一首少典山口忌寸若麻呂

以并天平二年庚午夏六月帥大伴卿忽

生瘡脚疾苦枕席因此馳驛上奏望請庶

弟稻公姪胡麻呂欲語遺言者勅右兵

庫助大伴宿禰稻公治部少丞大伴宿禰

胡麻呂兩人給驛發遣令看卿病而逐數

旬幸得平復于時稻公等以病既瘳發府

上京於是大監大伴宿禰百代少典山口

忌寸若麻呂及郷男家持等相送驛使共
到夷守驛家聊飲悲別乃作此歌

太宰帥大伴鄉被任大納言臨入京之時府

官人等餞鄉被任前國廬城驛家歌四首

三埦迴之荒磯爾縁五百重浪立毛居毛我念

流吉美

右一首筑前掾門部連石足

辛人之衣染云紫之情爾染而所念鴨

山跡邊君之立日乃近者野立鹿毛動而曾鳴

右二首大典麻田連陽春

月夜吉河音清之率此間行毛不去毛遊而將

歸

右一首防人佐大伴四綱

太宰帥大伴鄉上京之後沙彌蒲誓賜鄉歌

二首

真十鏡見不飽君爾所贈哉旦夕爾左備乍將

居

野下玉之黑髮變白髮手裳痛戀庭相時有來

大納言大伴卿和歌二首

此間在而鏡紫也何處白雲乃棚引山之方西

有良思

草香江之入江二求食蘆鶴乃痛多豆多頭思

友無二指天

太宰帥大伴卿上京之後筑後守高井連大

成悲嘆作歌一首

從今者城山道者不樂牟吾將通常念之物乎

大納言大伴卿新袍贈攝津大夫高安王歌

一首

吾衣人莫著曾網引為難波壯士乃手爾者雖

觸

大伴宿禰三依悲別歌一首

天地與共久住波牟等念而有師家之庭羽裳

萬葉集卷四

二十

金明軍與大伴宿禰家持歌二首

奉見而未時太爾不更者如年月所念君
足引乃山爾生有管根乃懃見卷欲君可聞

大伴坂上家之大娘報贈大伴宿禰家持歌

四首

生而有者見卷毛不知何如毛將死與妹常夢
所見鶴
丈夫毛如此戀家流乎幼婦之戀情爾比有目

八方

月草之徒安久念可母我念人之事毛告不來
春日山朝立雲之不居日無見卷之欲寸君毛
有鴨

大伴坂上郎女歌一首

出而將去時之波將有乎故妻戀為乍立而可
去哉

大伴宿禰稻公贈田村大嬢歌一首

不相見者不戀有益乎妹乎見而本名如此耳
戀者奈何將為

右一首姊坂上郎女作

笙女郎贈大伴宿禰家持歌廿四首

吾形見見管之努波世荒珠年之緒長吾毛將
思

衣手乎打迴乃里爾有吾乎不知曾人者待跡

不來家留

荒玉年之經去者今師波登勤與吾背子吾名
告為莫

吾念乎人爾令知哉玉匣開阿氣津跡夢西所
見

聞夜爾鳴奈流鶴之外耳聞乍可將有相跡羽
奈之爾

君爾戀痛毛為便無見櫛山之小松下爾立嘆

カモ

鴨
ワカヤトノ ユラカケクサノ エラツコノ ケヌカニモトナ オモユルカモ
吾屋戸之暮陰草乃白露之消蟹本名所念鴨

ワカイチノ マタクハ カキリリスレメ ヤ イヤヒニケニハ キヒマストモ
吾命之將全幸限忘目八彌日異者念益十方

ヤ ホカ ユクハミノ マサコモ ワカコヒニ アニマサラメ ヤ オキツレモリ
八百日往濱之沙毛吾戀二豈不益歟與島守

ウツ セミノ ヒトメ ヲシケミ イシハシノ チカキキニ コヒワタルカ
宇都蟬之人目乎繁見石走間近君爾戀度可

コニニ モソ ヒトハ シニスル三十世 カハシタニ ワレヤスツキニヒニケニ
戀爾毛曾人者死為水瀨河下從吾瘦月日異

アサキリノ ホニアヒミ レヒトユヘニ イチレヌヘクコヒワタルカモ
朝霧之鬱相見之人故爾命可死戀渡鴨

イ ノラミノ イノモ トロニ ヨスル ナニカレキヒ上ニ コヒワタルカモ
伊勢海之磯毛動爾因流浪恐人爾戀渡鴨

ニ、ロニモ、ワレハ オモハス ヤカハモ ヘタラナクニ カク コヒハト
從情毛吾者不念寸山河毛隔莫國如是戀常

羽
ユフサレハ モノオモヒニサレミ レヒトノ コト、ヒレ サマオモカケニレ テ
暮夫者物念益見之人乃言問為形面景為而

イモヒニレニスルモノニ アラマセ ハチ タヒソ ワレハ ヒコカヘテミレ
念西死為物爾有麻世波千遍曾吾者死變益

ツルキ タチ ミニ トリソフト ニメニミ ツ ナニ ノ サトシソ モ キニ
劔太刀身爾取副常夢見津何如之怪曾毛君

ニ アハスタメ
爾相為

アマツチノ カミモコトハリナクハ コソワカオモラキニ アハス レニセメ
天地之神理無者社吾念君爾不相死為目

吾毛念人毛莫忘多奈和丹浦吹風之止時無

有ワレモ オモフヒトモ ヲスルナ オホナ ワニ ウラフクカ止ノ ヤムトキナカ

皆人乎宿與殿金者打禮杼君乎之念者寐不

勝鴨テニカモ

不相念人乎思者大寺之俄鬼之後爾額衝如

從情毛我者不念寸又更吾故鄉爾將還來者

近有者雖不見在乎彌遠君之伊座者有不勝

自レ

右二首相別後更來贈

大伴宿禰家持和歌二首

今更妹爾將相八跡念可聞幾許吾曾鬱悒將

有イニサラニイモニ アハメ ヤト オモヘカ モ コ、タ ヲカム子イフカシカラ

中々者默毛有益呼何為跡香相見始兼不遂

等ナカニ

山口女王贈大伴宿禰家持歌五首

物念跡人爾不見常奈麻強常念弊利在曾金

津流

不相念人乎也本名白細之袖漬左右二哭耳

四泣裳

吾背子者不相念跡裳敷細乃君之枕者夢爾

見乞

劍太刀名惜雲吾者無君爾不相而年之經去

禮者

從蘆邊滿來益乃彌益荷念歟君之忘金鶴

大神女郎贈大伴宿禰家持歌一首

狹夜中爾友喚千鳥物念跡和備居時二鳴衣

本名

大伴坂上郎女怨恨歌一首并短歌

押照難波乃管之根毛許呂爾君之聞四乎年

深長四云者真十鏡磨師情乎縱手師其日之

極浪之共靡珠藻乃云云意者不持大船乃憑

有時丹千磐破神哉將離空蟬乃人與禁良武

カヨヒセシキニモ キニサス タニツサノ ツカヒモ ミエス ナリヌレ
通為君毛不來座玉粹之使母不所見成奴禮
ハイトモ スヘナニミヌハ タニノ ヨルハ スカ ラニニアカ
婆痛毛為便無三夜于玉乃夜者須我良爾赤
ラ ヒクヒモ クル、ニナケトモレルレ フナシニ 妻ハトモタ ツキラ
羅引日母至闇雖嘆知師乎無三雖念田付乎
セラニ タラヤメト イハクモレルク タワラハノ 子ノヨナケツ、タチ
白二幼婦常言雲知父手小童之哭耳泣管能
ヒリキニカ ツカヒラ マチヤ カ子テム
個君之使乎待八兼手六

反歌

ハシヨリナカクイヒツ、タノメス ハカ、ル 妻ヒニ アムレモノカ
從元長謂管不念恃者如是念二相益物歟

西海道節度使判官佐伯宿禰東人妻贈夫

君歌一首

ヒニモナクコフルニ カ アラム クサマクラタヒナキニカ ユメニ シニニユル
無間戀爾可有牟草枕客有公之夢爾之所見

佐伯宿禰東人和歌一首

クサマクラタヒニ ヒサレクナリヌレハ ナレヲ コソオモヘナ コヒソワキモ
草枕客爾久成宿者汝乎社念莫戀吾妹

池邊王宴誦歌一首

ニツノ ハニ ツキハ ユ ツリヌ モニチハノ スキヤ キニカ アハヌ
松之葉爾月者由移去黃葉乃過哉君之不相

ヨ オホク
夜多鳥

天皇思酒人女王 御製歌一首

道相而咲之柄爾零雪乃消者消香二戀云吾妹モ

高安王畏鮒贈娘子歌一首

奥幣往邊去伊麻夜為妹吾漁有藻卧束鮒オキヘ ユキヘニユキイニヤイモカタメワカスチレルモ フシツカフナ

八代女王獻 天皇歌一首

君爾因言之繁乎古鄉之明日香乃河爾潔身キミニ ヨリコトノ シキヲ フルサトノ アスカノ カハニ ミソキ

為爾去レニユク

一尾云龍田超三津之濱邊爾潔身四二タツタ コエミツノ ハニヘニ ミソキレニ

由又ユク

娘子報贈佐伯宿禰赤麻呂歌一首

吾手本將卷跡念牟大夫者戀水定白髮生二ワカタ モトニカム ト オモハスナミタラハ ナミタニシラカ オヒニ

有タリ

佐伯宿禰赤麻呂和詠一首

白髮生流事者不念戀水者鹿煮藻闕二毛求シラカ ェフル コトハ オモハスナミタラハ カニモ カクニモ サタメ

而將行テユカム

大伴四綱宴席歌一首

ナニニニカ ツカヒノ キツル キミヲ コソトニモカクニモ マチカエニスレ
奈何鹿使之來流君乎社左右裳待難為禮

佐伯宿禰赤麻呂歌一首

ハツハナノ 糸ルヘキモノヲ ヒトコトノ ミケキニ ヨリテ トマル コロ
初花之可散物乎人事乃繁爾因而止息比者

鴨

湯原王贈娘子歌二首

ツハハヘ ナキモノカモ ヒトハ シカハカリトキイヘチ ヲカヘストオモ
宇波弊無物可聞人者然許遠家路乎令還念

者

メニ ハミ テテニ ハトラレ ヌ ツキノウチノ カツラコトキイモラ
月二破見而手二破不所取月内之楓如妹乎

奈何責

娘子報贈歌二首

イクソハクオモヒケ マ カモレキタヘノ ニクカタサリユメニ ミエ コシ
幾許思異日鴨敷細之枕片去夢所見來之

イヘニ シテ ミシト アカヌ シクサマタヒニモツミト アルカ
家二四手雖見不飽乎草枕客毛妻與有之乏

左

湯原王亦贈歌二首

クサニクヌクニハイモハ イタレトモハコノウチナル タトコソキモヘ
草枕客者孀者雖寧有匣内之珠社所念

ワカキヌカタニ ニ マスレキタヘハ ニクサカラススニキテ サ子ニ世
余衣形見爾奉布細之枕不離卷而左宿座

娘子復報贈歌一首

ワカセ コカ カタミ ノ コモツニ トヒニ ワカニ ハ サケレ コトトハ
吾背子之形見之衣嬌問爾余身者不離事不

問友

湯原王亦贈歌一首

父、ヒトヨヘタレカカラニ アタタニノ ツキカヘ 又ルトモホユルカモ
直一夜隔之可良爾荒玉乃月歟經去跡心遮

娘子復報贈歌一首

ワカセ コカ カク コラレ コソヌ ハタメノ ユメニ ミエツ、
吾背子我如是戀禮許曾夜于玉能夢所見昔
寐不所宿家禮

湯原王亦贈歌一首

ハシケヤヤシニチカキサトヲクモ井ニヤコヒツ、ヲラム ツギ
波之家也思不遠里乎雲居爾也戀管將居月
毛不經國

娘子復報贈和歌一首

タユト イハハワシニセムトヤキタチノヘツカノコトハ
絶常云者和備染責跡燒太刀乃隔付經事者
幸也吾君

湯原王歌一首

ワキモ コニコヒテミタル、クルヘキニカヲアシヨシトワカ
吾妹兒爾戀而亂在父流部寸二懸而縁與余

コヒツメシ
戀始

紀女郎怨恨歌三首

ヨノナカノヲトメニシアラハワカワスルアナセノカハヲワタリカ子メ
世間之女爾思有者吾渡痛背乃河乎渡金目

八ヤハハワレハワヒヒシニケルイキノヌニオモヒシキ
今者吾羽和備曾四二結類氣乃緒爾念師君

乎縦左思者

シコタヘノズテワカレヘキヒヲチカニコロニムセヒチノミシナカ
白妙乃袖可别日乎近見心爾咽飲哭耳四所

流

大伴宿禰駿河麻呂歌一首

ニスラヲノオモヒワヒツ、アミタヒナケクナキヲオハヌモノカモ
丈夫之思和備尔遍多嘆又嘆乎不負物可聞

大伴坂上郎女歌一首

コトコソケキキニア
心者忘日無久雖念人之事杜繁君爾阿禮

大伴宿禰駿河麻呂歌一首

アヒミステケナカクナリヌコノコロハイカニヨシユキヤイフ
不相見而氣長又成奴比日者奈何好去哉言

カレワキモ
借吾妹

大伴坂上郎女歌一首

ナツクスノ タエヌ ツカヒノ カヨハ子ハ 夏葛之不絶使乃不通有者言下有如念鶴鴨 コトシモアルコトオモヒツルカモ

右坂上郎女者佐保大納言卿女也駿河

麻呂此高市大卿之孫也兩卿兄弟之家

女孫姑姪之族是以題歌送者相問起居

大伴宿禰三依離復相歎歌一首

ワキモ コハ トコヨノクニ スミケ ラシムカシニヨリワカハ 吾妹兒者常世國爾住家良思昔見從變若益 ニケリ

爾家利

大伴坂上郎女歌二首

ヒサカタノ アノツユシモオキニ ケリイニアルヒトモ 久堅乃天露霜置二家里宅有人毛待戀奴盪 ミチニヒヌ

タニモリニ タニハ サツチア カツカツモ 玉主爾珠者授而勝旦毛枕與吾者牽二將宿 ワレハ イサフタリ 子ム

大伴宿禰駿河麻呂歌三首

コロニハワスレヌモノヲタニノモヌヒ カスオホツキソ 情者不忘物乎儻不見日數多月曾經去來 ヘニケル

アヒミニハ ツキモ 相見者月毛不經爾戀云者乎曾呂登吾乎於 トワレヲオ

モ ホ サムカモ 毛保寒毳

オモハヌヲ オモヲト イハ アヌツチク 不念乎思常云者天地之神祇毛知寒邑禮左 カミモ

カハリ 變

大伴坂上郎女歌六首

吾耳曾君爾者戀流吾背子之戀云事波言乃
名具左曾

不念常曰手師物乎翼酢色之變安寸吾意可

雖念知僧裳無跡知物乎奈何幾許吾戀渡

豫人事繁如有者四惠也吾背子與裳何如

荒海藻

鹿

不相見者幾久毛不有國幾許吾者戀乍裳荒

戀戀而相有物乎月四有者夜波隱良武須史

羽蟻待

右大伴坂上郎女之母石川内命婦與安

倍朝臣蟲滿之母安曇外命婦同居姊妹

同氣之親焉縁此郎女蟲滿相見不踈相

談既密聊作戲歌以為問答也

談既密聊作戲歌以為問答也

厚見王詞一首

アサニヒニイロツクヤマノシラクモノオモヒスクヘキキミニアラナ
朝爾日爾色付山乃白雲之可思過君爾不有

春日王歌一首

アヒヒキノヤマタチハナクイロニイテカタラヒツキテアフニトモアラ
足引之山橘乃色丹出而語言繼而相事毛將

湯原王歌一首

ツキヨミノヒカリニキマセアヒヒキノヤマラハタテトホカラナクニ
月讀之光二來益足疾乃山乎隔而不遠國

和歌一首

ツキヨミノヒカリハキヨクテラセトモマトフコロハタスオモホユ
月讀之光者清雖照有感情不堪念

安倍朝臣蟲麻呂歌一首

レツタマキカスニモアラヌイナモテナソカクハカリウカコヒワル
倭父手纏數二毛不有壽持奈何幾許吾戀渡

大伴坂上郎女歌二首

マソカミトキレコロジユルテハノチニイフトモシルアラメヤモ
真十鏡磨師心乎縱者後爾雖云驗將在八方

ニハアリトイハ
真玉付彼此兼手言齒五十戸常相而後社悔

二破有跡五十戸

中臣女郎贈大伴宿禰家持歌五首

娘ヲミナ子部ベレ四咲澤サクサハニ二生流花勝見都毛オフルハナカツミカツテモ不知戀裳シラヌコヒモ
摺スルカ可聞モ

海底與乎深目手吾念有君二波將相年者經

十方

春日山朝居雲乃鬱不知人爾毛戀物香聞

直相而見而者耳社靈剋命向吾戀止眼

不欲常云者將強哉吾背管根之念亂而戀管

母將有

大伴宿禰家持與交遊別歌三首

羨毛人之中言聞可毛幾許雖待君之牙來益

中々爾絕年云者如此許氣緒爾四而吾將戀

八方

將念人爾有莫國懃情盡而戀流吾羸

大伴坂上郎女歌七首

謂言之恐國曾紅之色莫出曾念死友

今者吾波將死與吾背生十方吾二可緣跡言
跡云莫苦荷

人事繁哉君乎二鞠之家乎隔而戀乍將座

比者千歲八往裳過與吾哉然念欲見鴨

愛常吾念情速河之雖塞々友猶哉將崩

青山乎橫致雲之灼然吾共笑為而人二所知

名

海山毛隔莫國奈何鴨目言乎谷裳幾許乏寸

大伴宿禰三依悲別歌一首

照日乎闇爾見成而哭淚衣沾津干人無二

大伴宿禰家持贈娘子歌二首

百礪城之大宮人者雖多有情爾乘而所念妹

得羽重無妹二毛有鴨如此許人情乎令盡念

者

大伴宿禰千室歌一首 未詳

如此耳戀哉將度秋津野爾多奈引雲能過跡

者無二

廣河女王歌二首

戀草呼力車二七車積而戀良皆吾心柄

戀者今葉不有常吾羽念乎何處戀其附見繫

有

石川朝臣廣成歌一首

家人爾戀過目八方川津鳴泉之里爾年之歷

去者

大伴宿禰像見詞三首

吾聞爾繫莫言刈薦之亂而念君之直香魯

春日野爾朝居雲之敷布二吾者戀益月二日

二異二

一瀨二波千遍障良比逝水之後毛將相今爾

不有十方

大伴宿禰家持到娘子之門作歌一首

如此為而哉猶八將退不近道之間乎煩參來

而

河内百枝娘子贈大伴宿禰家持歌二首

ハツハソニヒトラアヒミテイカナラムイツレノヒニカマタ

外二將見

ヌハタミノソノヨノツキヨケフマエニワレハワスレスニ

間苦思念者

巫部麻蘇娘子歌二首

ワカセコヲアヒミレソノヒケフマニニワカコロモテハヒル

時毛奈志

タクナハノナカキイノチヲホレキクハタエステヒトラミタクホリコソ

大伴宿禰家持贈童女歌一首

ハ子カツライマスルイモヲユメニミテユ、ロノウチニユヒワタルカモ

童女來報歌一首

ハ子カツライマスルイモハナカリレヲイカサレイモソユ、タコヒタル

栗田娘子贈大伴宿禰家持歌二首

オモヒヤルスヘノレフ子ハカタモヒノソコニソワレハユヒナリニ

家類

復毛將相因毛有奴可白細之我衣手二齋留

目六

豐前國娘子大宅女歌一首

夕闇者路多豆多頭四待月而行吾背子其間

爾母將見

安都麻娘子歌一首

三空去月之光二直一日相三師人之夢西所

見

丹波大娘子歌三首

鴨鳥之遊此池爾木葉落而浮心吾不念國

味酒呼三輪之祝我忌枚手觸之罪與君二遇

難寸

垣穗成人辞聞而吾背子之情多由多比不合

頃者

大伴宿禰家持贈娘子歌七首

コ、ロニ ハ、キモヒワタレト ヨレヲ ナニ ヨシノミヒテ ナキソ ワカスル

情爾者思渡跡縁乎無三外耳為而嘆曾吾為

千鳥鳴佐保乃河門之清瀬乎馬打和多思何

時將通

夜晝云别不知吾戀情盖夢所見寸八

都禮毛無將有人乎狩念爾吾念者感毛安流

香

不念爾妹之咲儻乎夢見而心中二燎管曾呼

留

丈夫跡念流吾乎如此許三禮二見津禮片思

男責

村肝之於摧而如此許余戀良誓乎不知香安

類良武

獻 天皇歌一首

足引乃山二四居者風流無三吾為類和射乎

害目賜名

六伴宿禰家持歌一首

カクハカリコヒツ、アラスハ、イハキニモナラマシモノヲモノキモ
如是許戀乍不有者石木二毛成益物乎物不
ハスレテ
思四手

大伴坂上郎女從跡見庄贈賜留宅女子大

嬢歌一首并短歌

トコヨニトワカユカナクニコカナトニモノタシラニモモヘリ
常呼二跡吾行莫國小金門爾物悲良爾念有
レワカコノトレノヌハタマノヨルヒルトイハスモモフニ
之吾兒乃刀自緒野于玉之夜晝跡不言念二
レソカニハヤセヌオクニレソテサヘヌレヌカクハカリモト
思吾身者瘦奴嘆丹師袖左倍沾奴如是許本
ナレユヒハフルサトニコノツキコルモアリカテハレシ
名四戀者古鄉爾此月期呂毛有勝益士

反歌

アサカミノキモヒミタレテカクハカリナニノコヒソモユメニニテ
朝髮之念亂而如是許名姊之戀曾夢爾所見
ケル
家留

右歌報賜大嬢歌也

獻天皇歌二首

ニオトリノカツタイケミツコ、ロアラハキミニウカコヒコ、ロシヌサ子
二寶鳥乃潜池水情有者君爾吾戀情示左禰
ヨシニ井テコヒツ、アラスハキミカイノイケニスムトイフカモニ
外居而戀乍不有者君之家乃池爾住云鴨二
アラマシ
有益雄

大伴宿禰家持贈坂上家大嬢歌二首

雖絶數年

後會相聞不亦甚哉之矣

萱草吾下紐爾著有跡鬼乃志許草事二思安

利家理

人毛無國母有粳吾妹兒與携行而副而將座

大伴坂上大嬢贈大伴宿禰家持歌三首

玉有者手二母將卷乎鬱膽乃世人有者手二

卷難石

將相夜者何時將有乎何如為常香彼夕相而

事之繁裳

吾名者毛千名之五百名爾雖立君之名立者

惜社泣

又大伴宿禰家持和歌三首

今時有四名之惜雲吾者無妹丹因者千遍立

十方

空蟬乃代也毛二行何為跡鹿妹爾不相而吾

獨將宿

吾念如此而不有者玉二毛我真毛妹之手二
所纏牢

同坂上大嬢贈家持歌一首

春日山霞多奈引情具又照月夜爾獨鴨念

又家持和坂上大嬢歌一首

月夜爾波門爾出立夕占問足卜乎曾為之行

乎欲焉

同大嬢贈家持歌二首

云々人者雖云若狹道乃後瀬山之後毛將念

君

世間之苦物爾有家良久戀二不勝而可死念

者

又家持和坂上大嬢歌二首

後湍山後毛將相常念社可死物乎至今日毛

生有

萬葉集卷四

五十一

萬葉集卷四

五十一

コトノミシノチモアハムトナモコニワレシクノムテアハシラヌガモ
事耳乎後手相跡懃吾乎令憑而不相可聞

更大伴宿禰家待贈坂上大嬢歌十五首

ユメノアヒハクルレカリケリオホキテカキサクレトヒテニモフレ
夢之相者皆有家里覺而搔探友手二毛不所

觸者

ヒトヘノミイモカムスヒキヒラスラミヘムスフヘクワカニハナリヌ
一重耳妹之將結帶乎尚三重可結吾身者成

ワカコヒハチヒキノイレシナハカリクヒニカケテモカミノモロ
吾戀者千引乃石乎七許頸二將繫母神之諸

伏

コフサレハヤトアケマケテワレマタムユメニアヒミニコムト
暮去者屋戸開設而吾將待夢爾相見二將來

云比登乎

アサユフニミムトキサヘヤワキモコカミレトミヌコトナラ
朝夕二將見時左倍也吾妹之雖見如不見由

戀四家武

イケルヨニワレハマタニスコトタエテカクアハレケニヌヘルヌ
生有代爾吾者未見事絶而如是忼怛縫流囊

者

ワキモコカカタミノヨロモシタニキテダニアフマテハワレヌカ
吾妹兒之形見乃服下著而直相左右者吾將

脱八方

コヒレナムソレモオチシソ十二セムニヒトメロトコトコナタクワレ
戀死六其毛同曾奈何為二人目他言辞痛吾

將爲

夢二谷所見者社有如此許不所見有者戀而

死跡香

念絶和備西物尾中々爾奈何辛苦相見始兼
相見而者幾日毛不經乎幾許久毛久流比爾

久流必所念鴨

如是許面影耳所念者何如將爲人目繁而

相見者須更戀者奈木六香登雖念彌戀益來

夜之穗村呂吾出而來者吾妹子之念有四九

四面影二三湯

夜之穗村呂出都追來良久遍多數成者吾曾

截燒如

大伴田村家之大嬢贈妹坂上大嬢歌四首

外居而戀者誓吾妹子乎次相見六事計爲與

遠有者和備而毛有乎里近有常聞乍不見之

爲便奈沙

白雲之多奈引山之高々二吾念妹乎將見因
毛我母

何時爾加妹乎牟具良布能穢屋戸爾入將座

右田村大嬢坂上大嬢并是右大辨大伴

宿奈麻呂郷之女也卿居田村里号曰田

村大嬢但妹坂上大嬢者母居坂上里仍

日坂上大嬢了時姊妹諮問以歌贈答

大伴坂上郎女從竹田庄贈賜女子大嬢歌

二首

打渡竹田之原爾鳴鶴之間無時無吾戀良久

波

早河之湍爾居鳥之縁乎奈彌念而有師吾兒

羽裳何怜

紀女郎贈大伴宿禰家持歌二首女郎名曰

神左夫跡不欲者不有八也多八如是為而後

二佐夫之家牟可聞

玉緒乎沫緒二搓而結有者在手後二毛不相
在目八方メヤモ不浴者不食人出冬人吹長而

大伴宿禰家持和歌一首

百年爾者舌出而與余牟友吾者不厭戀者益

友トモ氏之歲爾吾身之齡平奈爾命而休相吾

在久邇京思留寧樂宅坂上大嬢大伴宿禰

家持作歌一首

一隔山重成物乎月夜好見門爾出立妹可將

待ラハ

藤原郎女聞之即和歌一首

路遠不來常波知有物可良爾然曾將待君之

目乎保利

大伴宿禰家持更贈大嬢歌二

都路乎遠哉妹之比來者得飼飯而雖宿夢爾

不所見來

今所知久邇乃京爾妹二不相久成行而早見

奈

大伴宿禰家持報贈紀女郎歌一首

久堅之雨之落日乎直獨山邊爾居者鬱有來

大伴宿禰家持從久邇京贈坂上大嬢歌五

首

人眼多見不相耳曾情左倍妹乎忘而吾念莫

國

偽毛似付而曾為流打布裳真吾妹兒吾爾戀

目八

夢爾谷將所見常吾者保杼毛友不相志思諾

不所見武

事不問木尚味狹藍諸第等之練乃村戶二所

詐來

百千遍戀跡云友諸第等之練乃言羽志吾波

不信

大伴宿禰家持贈紀女郎歌一首

鶉鳴故鄉從念友何如裳妹爾相縁毛無寸

紀女郎報贈家持歌一首

事出之者誰言爾有鹿小山田之苗代水乃中

與杼爾四手

大伴宿禰家持更贈紀女郎歌五首

吾妹予之屋戸乃篋乎見爾往者蓋從門將返

却可聞

打妙爾前垣乃酢堅欲見將行常云哉君乎見

爾許曾

板蓋之黒木乃屋根者山近之明日取而持將

參來

黒樹取草毛刈乍仕目利勤知氣登將譽十方

不在一云仕

野于玉能昨夜者令還今夜左倍吾乎還莫路

之長手呼

紀女郎裹物贈友歌一首女郎名曰小鹿

カセタカニニハ フケトモイモカタヌソテサヘ ヌレテカレル タモモ
風高邊者雖吹為妹袖左倍所沾而刈流玉藻
鳥

大伴宿禰家持贈娘子歌三首

フト、シノ サキツトニヨリコトシメテ ヲラシト ナソソモ イモニ アヒカ多キ
前年之先年從至今年戀跡奈何毛妹爾相難
ウツ、ニハ サラニモ イハス ヌニタニイモカタ タモトラ マキヌ
打乍二波更毛不得言夢谷妹之手本乎纏宿
トシミハ
常思見者

ワカヤ トノ クサノウヘシロク キクツユノ イチモ フレカラス イモニ
吾屋戸之草上白久置露乃壽母不有情妹爾
アハサレハ
不相有者

大伴宿禰家持報贈藤原朝臣久須麻呂歌

三首

ハルノ ロメハ イヤレキフルニ ヲメノハナイマサカナクイト ワカニカ
春之雨者彌布落爾梅花未咲久伊等若美可

聞

ユメノコトヲモホユルカモヨレエヤ シ キミカ ツカヒノ マ子 ク カユハ
如夢所念鴨愛八師君之使乃麻禰久通者

ウラノカミ ハナサキカタキ ウメラ ヲエテ ヒトノ コトシケニ オモヒノ
浦若見花咲難寸梅乎殖而人之事重三念曾

ワカスル
吾為類

又家持贈藤原朝臣久須麻呂歌二首

情八十一所念可聞春霞輕引時二事之通者
ハルカセノキトニミイテナハアリユキテイナラズトモキミカ
春風之聲爾四出名者有去而不有今友君之
ニニク
隨意

藤原朝臣久須麻呂來報歌二首

興山之磐影爾生流管根乃懃吾毛不相念有

哉

春雨乎待常二師有四吾屋戸之若木乃梅毛

未含有

萬葉集卷第四

